

高知県立大学にある
地域教育研究センターは、
大学の専門的な「知」を活かして
地域人材の育成や、地域の皆さまと共に
地域課題等の解決を目指すための
相談窓口です。

学生の地域社会で共に生きる力を育み、
地域の課題を共に考え行動します。

共に生きる
共に生み出す



「地域教育研究センター」のご利用方法 (共通教育部会/地域連携部会)

まずは、お問い合わせください



永国寺キャンパス
地域連携棟3階



088-821-7125



aeru@cc.u-kochi.ac.jp

地域教育研究センターは
志ある地域が元気になる
お手伝いをしています

「何であと10年早う来てくれなかった？」
中山間地域でよく聞く言葉です。「いまさら、
もういかんちや」が続きます。

本当に、もういかなのでしょうか？学生た
ちと集落を歩くと、道の両側に「宝物」がたく
さんあるのに気づきます。すごいモノであつ
たり、コトであつたり…。何でも自分たちで
やってしまう、すごいヒトにも出会います。
発見するたびに、「まだまだなんとなかなるの
ではないか」と希望を語る私たちです。よそ
者にしかわからない価値が、地域には沈潜
しています。

そういう価値を地域の皆さまと共有し、大
学の持つ資源(リソース)とマッチングさせ
ながら教育プログラムに組み込み、あるい
は研究して、地域が元気になるお手伝いを
するのが、地域教育研究センターです。

人はチカラです。地域のチカラ、大学のチ
カラ、行政のチカラ、企業のチカラ、マスコミ
のチカラ…。集まれば集まるほどチカラは
大きくなります。チカラを集めるのは、志で
す。集まらずに落ちる「集落」から、集まって
楽しい「集楽」へ。地域教育研究センターは、
地域の皆さまと共に、地域の大きなチカラ
になることを目指します。

「地域×大学＝域学」。たし算ではなく、か
け算です。



地域教育研究センター長
学長特別補佐(地域連携担当)
清原 泰治 教授

高知県立大学永国寺キャンパス



高知県立大学 地域教育研究センター

〒780-8515 高知県高知市永国寺町2番22号 永国寺キャンパス地域連携棟3階
TEL:088-821-7125 FAX:088-821-7126 mail:aeru@cc.u-kochi.ac.jp

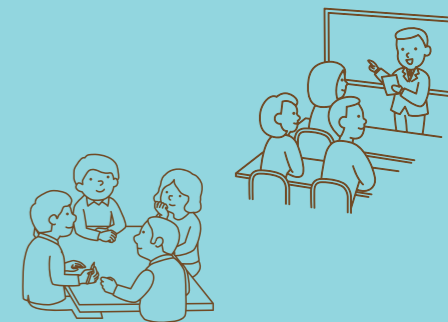
<http://www.u-kochi.ac.jp/site/aeru/>

地域教育研究センター





大学と地域が共に取り組み、共に生み出し、共に学び、 ヒトづくり、モノづくり、コトづくり！



「域学共生」 地域×大学 いきがく

域学共生科目で人材育成

平成27年度から地域学関連の3科目を設け、「地域学実習I」では、すべての学生が地域に出て地域を学び、地域で活動しています。また、「地域学実習II」では学生自身が計画して実施する実践的な取り組みを行い、さらに学びを深めたい学生に選択科目も設け、4年間で所定の単位を取得した学生には、「地域共生推進士」の称号を授与する教育プログラムをスタートさせました。専門性を生かしながら、地域住民や他分野の専門職者と協働して包括的な取り組みを企画してチームを構成し、課題解決に向けて活動をリードできる人材の育成を目指します。

学び直し・学びの継続の場

- 公開講座
- 履修証明プログラム
- 県民開放授業

「知の拠点」として、県民の皆さまに多様な公開講座や県民の課題解決のニーズに対応した生涯学習の機会を提供しています。



小・中・高校生に向けて

- 小・中・高等学校対象の出前講座
- 高校生のための公開講座
- 県大立志塾
- 環境を化学的視点から捉える実験講座

大学で学ぶ魅力や楽しさを県内の小・中・高校生に知っていただく取り組みをしています。



地域の課題に取り組む

- 地域活性化フォーラム
- 行政や住民支援組織、NPO団体などと協働したまちづくり

地域の課題に対して地域との連携事業を継続・発展させたり、平成27年度から行っている「域学共生」の取り組みを本格化させ、地域課題解決に向け実践的に活動をしています。



協力団体との情報交換

- 域学共生連携会議(高知県)
- 連携推進会議(包括連携協定締結7市町村)
- ご意見番会議(地域で協力いただいている団体)

自治体等の協力機関や、地域の皆さまの声を直接聞いて情報交換を行う会議を定期的開催しています。



進化する立志社中

地域の課題解決に主体的に取り組む学生を大学として支援する「立志社中」プロジェクトを平成25年度からスタートさせました。年々参加する学生も増え、活動地域や取り組む課題など、さまざまな面で広がりを見せています。「地域に学び、地域に育つ」このプロジェクトは、地域の課題に地域の方々と協働して取り組むことで、大学の授業だけでは得られない学びを肌で感じながら、高知県をまるごとフィールドにして、地域の「元気の創生」に力を発揮しています。

大学の知を活かすボランティア活動

平成28年度から、学生たちのボランティア活動を支援するための窓口としてCSL(コミュニティ・サービス・ラーニング)サポートデスクを開設。地域を実践的な学びの場であると考え、学生の専門性を活かした活動や社会経験の蓄積など、学生の学びが得られるようなボランティア受入団体の情報を募集し、大学の「知」を活かすボランティア活動をはじめられています。

